

森からのお手紙

14号
2024

Topics

森のこよみ

お客様物語 福永 紀昭さん 由紀子さん ご夫妻



お一人おひとりの人生が異なるように、お墓の選び方も実にさまざま。

その想いや考えを、お届けします。

お客様物語

第14回

今回のお客様 福永 紀昭さん 由紀子さん ご夫妻



千葉市にお住まいの福永紀昭さん、由紀子さんご夫妻は、個別墓りんどうに、ご主人のお母様、福永花子さんの納骨をされました。

茂原市の実家に住んでいたお母様は生前から「亡くなったら海に散骨してもよいし、好きにして」とおっしゃっていたそ

うです。また、福永さんの二人の娘さんにお墓のことで負担をかけたくないという思いがあり、樹木葬などを探していたところ、奥様とお姉様お二人から偶然、森の墓苑が候補として上がります。パンフレットにあった「土に還る、森をつくる」というコンセプトが気に入り、ご夫婦で見学に行かれました。

「実は初めて見た時、思っていた以上に殺風景だな、大丈夫かな、という印象でした。でも実際に歩いてみると鳥がさえずり、昆虫もいる、とても気持ちのよい場所でした。野草が生えているのも、本当に森にしようとしているんだというのがわかって、気に入りました」と紀昭さん。お母様は生前、庭に季節の花や木を植えて愛でていたそうで、「自然の花に囲まれたところは理想的な場所でした。ほかの候補が色あせてきて、『森の墓苑以外、考えられない』となったんです」

個別墓の「りんどう」で心に決めた場所は、ほんの1、2日の差で埋まってしまいました。残念に思いながら第二候補を選んだところ、すぐ後ろに生えていたのは娘さんと同じ名前「ミズキ」。さらに、位置を示す区画番号も、お母さまとお父さまの誕生月が入った縁のある数字でした。「父は存命ですが、いずれ一緒に入ることになるし巡り合わせだなと。無宗教ですが、この時ばかりは『神様がこの場所になるよう導いてくれたのかな?』と思いました」

お母さまが亡くなり、やらなければならぬことをこなしていく日々で、悲しむ余裕がなかった紀昭さん。期間が少し空いた納骨も、かえって落ち着いた心安らかな気持ちで行うことができました。

「森の墓苑という名前もとても気に入っています。一度壊された森を再生させることに微力ながら協力できたらなと思っています。また、花や実は見られる期間は決まっていますが、ここは昆虫やカエルの卵など、その季節ごとに何かしら見られ、またそれをスタッフの方が丁寧に教えてくださり、いつ行っても楽しめます」。

選んだ木は、由紀子さんが「小さな赤い花が、お母さんの雰囲気に似ている」というウグイスカグラです。紀昭さんも「赤い実を小鳥がついばみにやって来るのいいよね。土に還る、そして森をつくる…。母らしい他界後の暮らし方かなと思います。」

森からのお手紙 14号 2024 発行:(公財)日本生態系協会

森の墓苑
自然のなかに眠り森を育てる

(公財)日本生態系協会 森の墓苑東京事務所
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20音羽ビル
電話 0120-901-580 (9:00 ~ 18:00)

www.morinoben.org





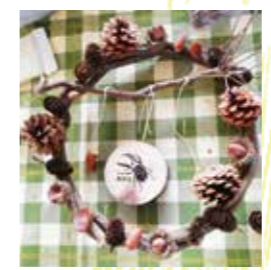
木のこよみ



樹名の名札つけ



池の浚渫と補修



環境ワークショップ



竹炭づくり



体験の機会の場

今年の秋は、千葉県循環型社会推進課とTCA東京ECO動物海洋専門学校と連携して、そごう千葉店で「体験の機会の場」環境ワークショップを行いました。森の墓苑で間伐した木材や、落ち葉、木の枝、どんぐりなどを使った、けん玉やコースターづくりの工作を来場者の方に体験していただきました。小さいお子さんからベテランの方まで多くの飛び入り参加があり、楽しい時間をともにすることができました。

墓苑現地では、環境活動に取り組んでいる企業、自然にたずさわ

る行政職員、大学生や専門学校の学生の方がたによる環境整備を行いま

した。生きもの調査をはじめ、トウキョウサンショウウオが生息する池の

補修、昆虫の家の建て替え、苑内の植樹、外来種のセイタカアワダチソウ

抜き、竹炭づくりなどを行いました。苑内と周辺の自然や生きも

のたちが、もっと美しくゆたかで元気になるように、森と草はら

づくりについて、参加した皆さんと共有することができました。



昆虫の家建て替え



トウキョウサンショウウオの放流



セイタカ抜き競争



昆虫の家新築



◆見学やお墓参りについて◆ご来苑の際は、スタッフ不在の場合がありますので、前日までにご連絡ください。

◆出張説明◆ご自宅や団体・企業での説明会も承りますので、ご依頼ください。



◆スマートフォンアプリ「LINE」のビデオ通話を使用したリモート現地見学も承ります。

「開苑時間」10〜16時 月曜定休(月曜日が祝祭日の場合は開苑)

「お問い合わせ」電話0120-901-580(全日9時〜18時)